

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371600640
事業所名	アメニティホーム塩釜

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に入り回覧板がまわることで地域の情報を得ることができ、近所の公園の掃除には職員と利用者が一緒に参加している。ホームで飼っている犬を介し散歩の人が声をかけてくれたり、町内の電気屋が電気の不具合を直しに来てくれるなど地域との繋がりがあがる。子育て中のお母さんたちが作る「子供くらぶ」からホームに遊びに行きたいと話があり、今後実現に向けて取り組んでいきたいと考えている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回、地域の代表・いきいき支援センター・利用者・家族が集まり意見交換を行っている。会議の誘いの手紙を民生委員や町内会長に手渡しし、話し合った内容は家族に手紙で知らせている。毎回の会議に合わせ、お茶会や避難訓練・クリスマス会などを行い、参加を促す工夫もしている。参加者から、空いている敷地を畑にしてはどうかと提案をもらい、検討している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） いきいき支援センターの職員には、運営推進会議でホームの様子を伝えるとともに、認知症ケアパスについてホームの受け入れ体制の情報交換を行い冊子を作成する等、協力関係を築くよう取り組んでいる。また、市主催の研修にも参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月家族あてに、ホームの情報や行事予定、利用者の様子を記した便りを送っている。また、今年は敬老会に合わせ家族会を開催することで、多くの家族の参加があり交流を深めることができた。職員は、親しみやすく意見を言いやすい関係づくりに努め、家族からも訪問しやすく、気軽に話しやすいという言葉ももらっている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○				